平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名　沖電気工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6703　URL　http://www.oki.com/jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 川崎 秀一
問合せ先責任者 (役職名) IR室長　(氏名) 野村 重夫　TEL 03-3501-3836

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	193,629	4.0	△4,004	―	△6,099	―	△6,718	―
24年3月期第2四半期	186,268	△0.1	△2,893	―	△5,222	―	△9,660	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△5,521百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△7,388百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△9.20	―
24年3月期第2四半期	△13.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	321,465	34,808	10.8
24年3月期	368,065	41,251	11.2

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　34,739百万円　24年3月期　41,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	445,000	5.1	14,000	16.9	11,000	21.2	6,500	317.8	7.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	731,438,670 株	24年3月期	731,438,670 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,413,527 株	24年3月期	612,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	729,882,468 株	24年3月期2Q	730,964,025 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成24年11月13日(火)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本第2四半期決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

（参考）

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式（基準日）	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	44,047.00	44,047.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	34,410.00	34,410.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成24年８月８日付適時開示でお知らせしましたとおり、当社海外連結子会社の不適切な会計処理に関連し、過去の決算を訂正しております。以下の記載における前年同期との比較はすべて平成24年９月14日付訂正後の四半期連結財務諸表等に基づくものです。

①当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）の概況

当第２四半期連結累計期間（平成25年３月期第２四半期累計）の世界経済は、米国では失業率の低下など緩やかな回復傾向が見られましたが、欧州では、ドイツの景気持ち直しの動きがあるものの、欧州財政危機の長期化により低迷が続きました。また、中国をはじめとする新興国においても成長に減速感が見られ、全体としては不透明感が強まりました。一方、国内経済は復興需要などを背景に一部に景気回復の動きが見られるものの、長引く円高や世界経済の減速により輸出が伸び悩むなど依然として厳しい状況にあります。

このような事業環境の下、ＯＫＩグループの業況は、円高影響があるものの、中国向けＡＴＭの増加など情報通信システム事業が堅調なことにより、売上高は1,936億円（前年同期比73億円、4.0％増加）となりました。営業損失は、物量増や変動原価の低減などの増益効果はあるものの、円高影響や固定費等の増加などより40億円（同11億円悪化）となりました。

経常損失は61億円（同９億円悪化）となりました。また、四半期純損失は、投資有価証券評価損の減少などにより特別損益が改善したことに加え、繰延税金資産を計上したことなどにより67億円（同30億円良化）となりました。

②事業別の状況

＜情報通信システム事業＞

外部顧客に対する売上高は、1,162億円（前年同期比73億円、6.7％増加）となりました。ソリューション＆サービスでは、官公庁向け案件は増加したものの全体としては減収、通信システムも、光アクセス需要の一巡などにより減収となりました。一方社会システムは、一部官公庁向け大型リプレースが増加したことにより増収、メカトロシステムでは、中国向けＡＴＭの増加に加え、中国子会社の決算期間変更影響などにより大幅増収となりました。

営業利益は、物量増に伴う限界利益の増加などにより、46億円（同２億円増加）となりました。

＜プリンタ事業＞

外部顧客に対する売上高は、538億円（前年同期比６億円、1.0％増加）となりました。円高による減収影響が29億円となり、円高影響を除くと35億円の増収となりました。

商品別の状況では、オフィス向けカラーＬＥＤプリンタ及びモノクロＬＥＤプリンタは、新商品投入に合わせたプロモーションなどの積極的なチャネル支援策に加え、ビジネス向け低価格機投入による商品ラインナップ拡充などにより、販売台数が順調に増加しました。また、新商品販売も堅調でした。ドットインパクトプリンタでは、販売台数が増加した一方で、本体価格が下落したことなどから減収となりました。その他では、プリンタ以外の機器が減少しました。

営業損失は、物量増に伴う限界利益の増加や変動原価の低減効果はあるものの、円高影響に加え、スペインにおける貸倒引当金の計上などによる販管費増や価格下落などにより72億円（同10億円悪化）となりました。

＜ＥＭＳ事業、その他＞

外部顧客に対する売上高はＥＭＳ事業で148億円（前年同期比７億円、4.0％減少）、その他の事業で88億円（同１億円、1.5％増加）となりました。ＥＭＳ事業では、半導体装置関連の需要減少などにより減収となりました。その他の事業では、アミューズメント市場向けの部品関連事業が堅調でした。

営業利益は、ＥＭＳ事業で５億円（前年同等）、その他の事業では、14億円（前年同等）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①当第２四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して466億円減少の3,215億円となりました。自己資本は、当第２四半期連結累計期間において四半期純損失を67億円計上したこと等により、前連結会計年度末に対して64億円減少の347億円となりました。その結果、自己資本比率は10.8%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産で現金及び預金が130億円、受取手形及び売掛金が213億円、有価証券が245億円それぞれ減少する一方、たな卸資産が200億円増加しております。

負債は401億円減少しております。借入金は、主に長期借入金の返済により、前連結会計年度末1,365億円に対して125億円減少し、1,240億円となりました。また、流動負債で支払手形及び買掛金が90億円、その他が186億円それぞれ減少しております。

②当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が増加したことにより、163億円の支出（前年同期172億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や有価証券の運用による支出などにより、93億円の支出（同49億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとをあわせたフリー・キャッシュ・フローは256億円の支出（同123億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済により、137億円の支出（同112億円の支出)となりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第２四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末の750億円から376億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月７日付適時開示でお知らせしましたとおり、当第２四半期連結累計期間のプリンタ事業の業績動向などを考慮し、平成24年９月14日に公表しました連結業績予想を修正いたしました。

プリンタ事業は、スペイン以外の地域においては新商品投入に合わせたプロモーションなどの積極的なチャネル支援策に加え、ビジネス向け低価格機投入による商品ラインナップ拡充などにより、市場での稼働台数は堅調に増加しているものの、スペインにおけるプリンタ製品の出荷高の減少やプリンタ以外の製品の販売計画見直しに伴う貸倒引当金の計上などにより、前回（平成24年９月14日）公表計画と比べて減収減益となる見込みです。なお、情報通信システム事業は、堅調に推移しております。

これらの結果、通期業績につきましては、売上高が4,450億円（前回公表比20億円減収）、営業利益が140億円（同45億円減益）、経常利益が110億円（同45億円減益）、当期純利益が65億円（同45億円減益）となる見込みです。

なお、連結業績予想に用いた下期の為替換算レートは76円／米ドル、100円／ユーロです。

詳細につきましては、本日開示いたしました「12年度第２四半期（累計）決算説明資料」をご参照ください。

（ご参考）平成25年３月期通期連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	447,000	18,500	15,500	11,000
今回発表予想（B）	445,000	14,000	11,000	6,500
増減額（B－A）	△2,000	△4,500	△4,500	△4,500
増減率（％）	△0.4	△24.3	△29.0	△40.9
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	423,480	11,980	9,075	1,555

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,193	32,247
受取手形及び売掛金	112,137	90,779
有価証券	34,320	9,823
製品	24,696	32,457
仕掛品	18,424	30,068
原材料及び貯蔵品	25,106	25,698
その他	26,336	22,859
貸倒引当金	△12,325	△15,640
流動資産合計	273,888	228,293
固定資産		
有形固定資産	52,592	53,796
無形固定資産	7,026	6,710
投資その他の資産	34,557	32,664
固定資産合計	94,176	93,171
資産合計	368,065	321,465
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,307	57,347
短期借入金	76,635	74,000
引当金	2,074	1,949
その他	69,338	50,678
流動負債合計	214,355	183,976
固定負債		
長期借入金	59,843	49,985
退職給付引当金	18,912	19,629
役員退職慰労引当金	294	415
その他	33,407	32,651
固定負債合計	112,457	102,680
負債合計	326,813	286,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	21,554	21,554
利益剰余金	△20,968	△28,106
自己株式	△38	△395
株主資本合計	44,547	37,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,815	△2,393
繰延ヘッジ損益	△973	△774
為替換算調整勘定	△632	854
その他の包括利益累計額合計	△3,422	△2,314
新株予約権	79	79
少数株主持分	46	△10
純資産合計	41,251	34,808
負債純資産合計	368,065	321,465

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	186,268	193,629
売上原価	140,148	145,059
売上総利益	46,119	48,570
販売費及び一般管理費	49,012	52,575
営業損失（△）	△2,893	△4,004
営業外収益		
受取利息	115	94
受取配当金	650	304
雑収入	654	661
営業外収益合計	1,419	1,060
営業外費用		
支払利息	2,109	1,676
為替差損	1,146	1,096
雑支出	492	380
営業外費用合計	3,748	3,154
経常損失（△）	△5,222	△6,099
特別利益		
投資有価証券売却益	－	137
貸倒引当金戻入額	207	－
資産除去債務履行差額	96	－
特別利益合計	303	137
特別損失		
固定資産処分損	243	207
減損損失	13	－
投資有価証券売却損	187	－
投資有価証券評価損	1,144	288
特別退職金	164	－
事業構造改善費用	15	－
付加価値税修正損	293	－
特別損失合計	2,062	496
税金等調整前四半期純損失（△）	△6,982	△6,458
法人税、住民税及び事業税	1,251	880
法人税等調整額	1,223	△711
法人税等合計	2,474	169
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,456	△6,627
少数株主利益	203	90
四半期純損失（△）	△9,660	△6,718

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△9,456	△6,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△560
繰延ヘッジ損益	184	199
為替換算調整勘定	1,811	1,483
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△16
その他の包括利益合計	2,067	1,105
四半期包括利益	△7,388	△5,521
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,586	△5,603
少数株主に係る四半期包括利益	197	81

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△6,982	△6,458
減価償却費	6,190	5,926
引当金の増減額（△は減少）	4,475	4,684
受取利息及び受取配当金	△765	△398
支払利息	2,109	1,676
投資有価証券評価損益（△は益）	1,144	288
投資有価証券売却損益（△は益）	186	△135
固定資産処分損益（△は益）	243	166
売上債権の増減額（△は増加）	27,791	20,022
たな卸資産の増減額（△は増加）	△13,152	△20,776
仕入債務の増減額（△は減少）	4,406	△6,270
未払費用の増減額（△は減少）	551	△3,375
その他	△6,504	△11,094
小計	19,693	△15,743
利息及び配当金の受取額	764	388
利息の支払額	△2,138	△1,693
保険金の受取額	－	2,636
法人税等の支払額	△1,140	△1,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,179	△16,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△505	△3,505
有価証券の償還による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△3,884	△5,270
無形固定資産の取得による支出	△1,134	△945
投資有価証券の売却による収入	42	309
その他の支出	△768	△1,012
その他の収入	842	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,908	△9,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,420	△382
長期借入れによる収入	9,500	200
長期借入金の返済による支出	△22,378	△11,470
セール・アンド・リースバックによる収入	306	856
リース債務の返済による支出	△1,340	△1,232
配当金の支払額	△0	△1,321
その他	294	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,197	△13,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	840	367
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,914	△38,898
現金及び現金同等物の期首残高	79,645	74,996
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	193	1,426
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△618	－
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,134	37,554

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	108,876	53,224	15,452	177,554	8,714	186,268	－	186,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,104	2,284	55	3,444	10,976	14,420	△14,420	－
計	109,980	55,509	15,508	180,999	19,690	200,689	△14,420	186,268
セグメント利益又は損失（△）	4,419	△6,152	523	△1,210	1,393	183	△3,077	△2,893

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額△3,077百万円には、セグメント間取引消去△86百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,030百万円及び固定資産の調整額39百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	116,177	53,769	14,839	184,786	8,843	193,629	－	193,629
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,444	2,795	68	4,307	11,020	15,328	△15,328	－
計	117,621	56,564	14,908	189,093	19,864	208,957	△15,328	193,629
セグメント利益又は損失（△）	4,574	△7,207	486	△2,145	1,363	△782	△3,222	△4,004

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額△3,222百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,166百万円及び固定資産の調整額△52百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。